

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～18	日 本 史	20～35
世 界 史	36～51	地 理	52～60
数 学	62～67		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

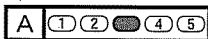
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

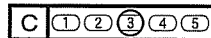
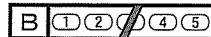
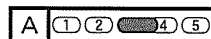
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

[I] 次の史料[A]および[B]を読んで、以下の問いに答えよ。

[A] 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことはりをあらはす。おごれる人も久しからず。只春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵に同じ。遠く異朝をとぶらへば、秦の趙高、漢の王莽、梁の朱异、唐の祿山、是等は皆旧主先皇の政にもしたがはず、楽みをきはめ、諫をもおもひいれず、天下のみだれむ事をさとらずして、民間の愁る所をしらざ(ツ)しかば、久しからずして、亡じにし者どもなり。近く本朝をうかぶふに、承平の将門、天慶の純友、康和の義親、平治の信頼、おごれる心もたけき事も、皆とりどりにこそありしかども、まちかくは、Xの入道前太政大臣平朝臣清盛公と申し人のありさま、伝承るこそ心も詞も及ばれぬ。

[B] (承久三年五月)十九日壬寅、……二品、家人等を簾下に招き、秋田城介景盛を以て示し含めて曰く、皆心を一にして奉るべし。是れ最期の詞なり。故右大將軍朝敵を征罰し、関東を草創してより以降、官位と云ひ、俸禄と云ひ、^(f)其の恩既に山岳よりも高く、溟渤よりも深し。報謝の志浅からんや。而るに今逆臣の讒に依て、非義の綸旨を下さる。名を惜しむの族は、早く秀康・胤義等を討ち取り、^(g)三代将軍の遺跡を全うすべし。但し院中に参ぜんと欲する者は、只今申し切るべし者、群参の士悉く命に応じ、且つは涙に溺みて返報を申すに委しからず、只命を軽んじて恩に酬いんことを思ふ。

問1 下線部(a)の人物は赴任した国に留まり、任期が終わっても帰京せず、朝廷に対して乱を起こした。この人物が赴任した国名を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 讃岐 イ 伊予 ウ 安芸 エ 長門 オ 周防

問2 下線部(b)の人物は出雲で反乱を起こしたが、ある武将に討たれた。下線部(b)の人物を討った武将を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 平重盛 イ 平経盛 ウ 平正盛 エ 平教盛 オ 平宗盛

問3 下線部(b)の人物の父は有名な武将である。下線部(b)の人物の父が参加した戦いを以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 保元の乱 イ 前九年の役 ウ 承久の乱
エ 平治の乱 オ 後三年の役

問4 下線部(c)の人物はある武将と結んで兵をあげたが下線部(d)の人物に滅ぼされた。下線部(c)の人物が結んで兵をあげた武将を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 源義朝 イ 源頼信 ウ 源頼光 エ 源為義 オ 源為朝

問5 下線部(d)の人物の叔父は保元の乱後、処刑されたといわれる。下線部(d)の叔父を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 平忠常 イ 平時忠 ウ 平頼綱 エ 平忠盛 オ 平忠正

問6 下線部(d)の人物が娘を中宮に入れた天皇を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後鳥羽天皇 イ 近衛天皇 ウ 高倉天皇
エ 二条天皇 オ 崇徳天皇

問7 下線部(d)の人物に対して、京都郊外の鹿ヶ谷で平氏打倒をはかり失敗する事件が起きた。この事件の関係者を以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 藤原成親 イ 藤原通憲 ウ 藤原頼経
エ 俊寛 オ 西光

日本史

問8 下線部(d)の人物に対して、各地の武士団が平氏打倒の挙兵を行った。以仁王と一緒に平氏打倒の挙兵を行い敗死した武将を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 源義仲 イ 源頼政 ウ 源経基 エ 源満仲 オ 源頼義

問9 下線部(d)の人物の存命中に起きた出来事を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 富士川の戦い イ 倶利伽羅峠の戦い ウ 讃岐屋島の合戦
エ 壇の浦の戦い オ 摂津一の谷の合戦

問10 空欄 には平氏の拠点があった地名が入る。空欄 に入る地名を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 厳島 イ 福原 ウ 平泉 エ 六波羅 オ 宇治

問11 下線部(e)の人物は尼將軍とよばれたが、その兄弟を以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 北条時政 イ 北条義時 ウ 北条泰時
エ 北条時房 オ 北条時頼

問12 下線部(f)の人物を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 源実朝 イ 源範頼 ウ 源頼朝 エ 源義経 オ 源頼家

問13 下線部(g)の三代目將軍は歌人としても有名である。その歌集を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『金槐和歌集』 イ 『拾遺愚草』 ウ 『十訓抄』
エ 『禁秘抄』 オ 『十六夜日記』

問14 史料[B]に関連して、承久の乱後、三上皇が配流された国名の組み合わせを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 後鳥羽上皇・土佐 - 順徳上皇・佐渡 - 土御門上皇・隱岐
- イ 後鳥羽上皇・隱岐 - 順徳上皇・土佐 - 土御門上皇・佐渡
- ウ 後鳥羽上皇・隱岐 - 順徳上皇・佐渡 - 土御門上皇・土佐
- エ 後鳥羽上皇・佐渡 - 順徳上皇・土佐 - 土御門上皇・隱岐
- オ 後鳥羽上皇・佐渡 - 順徳上皇・隱岐 - 土御門上皇・土佐

問15 史料[B]は鎌倉幕府の歴史を編年体で記した歴史書が出典である。その歴史書の名称を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『元亨積書』 イ 『水鏡』 ウ 『増鏡』
- エ 『吾妻鏡』 オ 『太平記』

日本史

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

古代の日本は中国と朝貢関係を結ぶことによって文物や制度などを輸入した。それによってまた、^(a)わが国で文字による記録がなかった時代におけるヤマト王権、たとえば「倭の五王」の存在が中国の史書の記述から確認できる。

人材の^(b)育成も中国に依存する時代が続き、隋や唐に派遣した使者に同行した留學生や学問僧は、帰国後様々な分野で重要な役割を果たした。その後、9世紀末になると、大使に任ぜられた菅原道真の意見によって遣唐使船の派遣は中止されることになった。^(d)

12世紀末以後、大陸に渡った仏教の僧侶が修行後日本に戻り新たな宗派を広めていった。14世紀には足利義満が明に使者を派遣し勘合貿易を始めた。貿易は、義満の死後その子である足利義持が明への服属を前提とする朝貢貿易に反対したため一時中断したものの、6代将軍足利義教の時代に再開された。^(e)

16世紀後半には大航海時代の覇権を握ったスペイン、ポルトガルを中心にヨーロッパ諸国との貿易が始まったが、17世紀初頭に開かれた江戸幕府は当初から貿易に制限を加えた。たとえば、生糸貿易を通じて巨額の利益を得ていた外国人商人に対抗するため、日本側商人に糸割符仲間を組織させて生糸を輸入する糸割符制度が設けられた。^(g)

江戸時代初期から中期における日本からの輸出品のほとんどは貴金属類で、17世紀半ばまでは銀が中心であったが、17世紀末期からは銅の輸出が大幅に増えていった。貴金属の海外流出を防ぐため、新井白石は海舶互市新例を出し、オランダ船、清船ごとに年間の取引船数と取引額の上限を設定した。18世紀半ばには銅の輸出量も減少傾向に転じ、特に清船を通じた輸出では倭物などの海産物の割合が増加していった。⁽ⁱ⁾

問1 下線部(a)に関連して、奴国の使者が中国の皇帝から金印を受けたことが記された中国の史書を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------------|------------|
| ア 『漢書』地理志 | イ 『後漢書』東夷伝 |
| ウ 『三国志』『魏書』東夷伝倭人条 | エ 『宋書』倭国伝 |
| オ 『隋書』倭国伝 | |

問2 下線部(b)の「倭の五王」の「武」にあたとされている天皇を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 安康天皇 | イ 允恭天皇 | ウ 応神天皇 |
| エ 仁徳天皇 | オ 雄略天皇 | |

問3 下線部(b)の「倭の五王」の「武」にあたとされている天皇については、その名と推定される銘文が刻まれている剣が出土している。それが出土した古墳あるいは遺跡を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| ア 稲荷山古墳 | イ 荒神谷遺跡 | ウ 三内丸山遺跡 |
| エ 大仙陵古墳 | オ 吉野ヶ里遺跡 | |

問4 下線部(c)に関連して、遣唐使に同行・帰国して大きな役割を果たした人物を以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|--------|------|
| ア 阿倍仲麻呂 | イ 吉備真備 | ウ 玄昉 |
| エ 高向玄理 | オ 南淵請安 | |

問5 下線部(d)の人物が太宰府に左遷された時の天皇を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 宇多天皇 | イ 醍醐天皇 | ウ 朱雀天皇 |
| エ 一条天皇 | オ 冷泉天皇 | |

問6 下線部(d)の人物が左遷された時の天皇およびその子である村上天皇の時代には、摂政・関白がおかれず天皇親政がおこなわれた。それは何とよばれているか、正しいものを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ア 延喜・天曆の治 | イ 承平・天慶の治 | ウ 天慶・天曆の治 |
| エ 寛平・延喜の治 | オ 承和・貞観の治 | |

日本史

問7 下線部(e)に関連して、以下の文章を読み、 ～ にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～ソからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

天台の僧であった は、南宋から禅を伝え、後に 宗の開祖と仰がれ京都に を創建した。また、 の弟子に学んだ も 宗の開祖と仰がれた。『』は の著作でそれには彼の思想がまとめられている。

- | | | | | |
|-----------|------|---------|--------|-------|
| ア 栄西 | イ 道元 | ウ 日蓮 | エ 法然 | オ 浄土 |
| カ 曹洞 | キ 臨済 | ク 建仁寺 | ケ 相国寺 | コ 天龍寺 |
| サ 南禅寺 | | シ 興禅護国論 | ス 正法眼蔵 | |
| セ 選択本願念仏集 | | ソ 立正安国論 | | |

問8 下線部(f)の人物は南北朝の合体を実現させたことでも知られている。合体前における南朝側と北朝側それぞれ最後の天皇の組み合わせとして正しいものを以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|---------|---|-------|---------|---|-------|
| ア 長慶天皇 | － | 後円融天皇 | イ 長慶天皇 | － | 後小松天皇 |
| ウ 後龜山天皇 | － | 後円融天皇 | エ 後龜山天皇 | － | 後小松天皇 |
| オ 後村上天皇 | － | 後小松天皇 | カ 後村上天皇 | － | 後円融天皇 |

問9 下線部(g)に関連して、室町時代には多くの一揆が発生した。以下のア～オが発生した古い順から並べたとき、3番目にあたるものを一つ選び解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ア 加賀の一向一揆 | イ 嘉吉の徳政一揆 | ウ 正長の徳政一揆 |
| エ 播磨の土一揆 | オ 山城の国一揆 | |

問10 以下の表は1432年における遣明船による輸出品に関するものである。輸出品は、大きく天然資源系の品目と美術工芸品・刀剣類の2種類に分類される。天然資源系品目については表のように輸出数量と単価が判明しているが、美術工芸品・刀剣類については各品の情報が不十分である。そこで、表中の数字をもとに美術工芸品・刀剣類全体の輸出額を推計し、それが輸出総額に占めた割合を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

表 1432年における室町幕府から明への輸出品

天然資源系品目	数量	単価
蘇木 ¹	10,600(斤 ³)	1(貫/斤)
硫黄	22,000(斤)	1(貫/斤)
紅銅	4,300(斤)	0.3(貫/斤)
美術工芸品・刀剣類	数量	単価
蒔絵漆器	n.a. ⁴	0.8(貫/筒)
花硯	n.a.	0.5(貫/筒)
鎗	n.a.	3(貫/條)
(以下省略)		
輸出総額 ²	217,732(貫)	

(注) 1) 染料用の木の心材。

2) 天然資源系品目と美術工芸品・刀剣類の合計金額。

3) 1斤=600グラム。

4) n.a.はデータがないことを示す。

(出典) C.V. ヴェアシュア(河内春人訳)『モノが語る日本対外貿易史』藤原書店、2011年、255頁、表5-bを一部改変した。

- ア 20%未満 イ 20%以上40%未満 ウ 40%以上60%未満
エ 60%以上80%未満 オ 80%以上

日本史

問11 問10の結果から、当時の日本から明への輸出についてどのような特徴があったといえるか、正しいものを以下のア～イから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。どちらも正しくない場合はウをマークせよ。

ア 天然資源系の品目が輸出総額の60%以上を占めており、当時の日本の明国に対する輸出構造は、加工度の低い天然資源系の品目を中心とした、現代で言うところの「発展途上国型」の特徴を示していた。

イ 美術工芸品・刀剣類の品目が輸出総額の60%以上を占めており、これらの品目については、日本の製造技術は明国においても高い評価を得ていたと思われる。

問12 下線部(h)に関連して、1582年に伊東マンショらの少年使節団をローマ教皇のもとに派遣した大名を以下のア～キからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 有馬晴信 イ 池田光正 ウ 大友義鎮 エ 大村純忠
オ 加藤清正 カ 小西行長 キ 高山右近

問13 下線部(i)の糸割符制度について、以下のア～エから正しいものを二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 糸割符仲間が決めた価格で一括購入する権利を彼らに付与した。

イ 糸割符仲間が1年間に輸入できる数量の上限が定められた。

ウ 当初の糸割符仲間は、江戸、大坂、長崎の商人に限られ、その後に京都、堺の商人が加えられた。

エ 当初の糸割符制度は、ポルトガル船を対象としたものであったが、その後中国船やオランダ船に対しても適用された。

問14 下線部(j)に関連して、のちの明治時代に政商とよばれた古河に払下げられた鉱山を以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 阿仁銅山 イ 生野銀山 ウ 院内銀山
エ 佐渡金山 オ 別子銅山

問15 下線部(k)の新井白石の政策あるいは事績として正しいものを以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 徳川綱吉と徳川家宣の2代の将軍に仕えた。
- イ 小判の金含有率を引き下げて、物価上昇を促した。
- ウ 朝鮮からの国書の記載を「日本国大君」から「日本国王」に改めさせた。
- エ イタリア人宣教師シドッチを訊問し、それをもとに『西洋事情』を著した。
- オ 将軍職の権威を高めるため、新しい宮家の創設を建議した。

問16 下線部(l)の俵物に含まれる代表的な海産物を以下のア～カから三つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---------|-------|
| ア いらこ | イ 昆布 | ウ スルメ |
| エ ふかひれ | オ 干しあわび | カ 干鰯 |

日本史

〔Ⅲ〕 次の史料[A]～[C]を読んで、以下の問いに答えよ。

[A]

- 【1】 今の日本人が全国を鎖^{とぎ}して国民をして国中国外に限らず、敢て異域の人と通商せざらしむる事、実に所益あるによれりや否やの論(『日本誌』)
- 【2】 (1641年5月11日)……閣老は、上記の使節により、我々に次の様に伝えた。……「皇帝への献上品は、我々が皇帝に代って、喜んで受納する。皇帝は我々に、次のことを貴下^(a)に伝える様に、と言った。『外国人が貿易を行うかどうかは、日本国にとってはあまり重要ではないが、オランダ人は、老皇帝から通行許可証を得ているので、通行を許し、彼等の商業その他について、以前と同様に、自由を享受してよい。……』……」……(『オランダ商館長日記』)

問1 【1】の著者とその邦訳者を以下のア～オからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-----|--------|---------|---------|
| 著者 | ア アダムズ | イ ケンペル | ウ シーボルト |
| | エ フロイス | オ ヨーステン | |
| 邦訳者 | ア 高橋景保 | イ 前野良沢 | ウ 志筑忠雄 |
| | エ 杉田玄白 | オ 緒方洪庵 | |

問2 【2】の下線部(a)で「皇帝」とよばれている将軍を以下のア～カから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 徳川家康 | イ 徳川綱吉 | ウ 徳川秀忠 |
| エ 徳川家光 | オ 徳川家斉 | カ 徳川家継 |

[B]

- 【1】 一 異国江日本の船遣すの儀，堅く停止の事。
 一 日本人異国江遣し申す間敷候。
- 【2】 一 異国え奉書船の外，舟遣すの儀，堅く停止の事。
 一 奉書船の外，日本人異国へ遣し申す間敷候。
- 【3】 一 ……自今以後，かれうた渡海の儀，之を停止せられ訖。

問3 【1】～【3】の鎖国令を年代順に並べたものを以下のア～カから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------|
| ア | 【1】→【2】→【3】 | イ | 【2】→【1】→【3】 |
| ウ | 【3】→【2】→【1】 | エ | 【1】→【3】→【2】 |
| オ | 【3】→【1】→【2】 | カ | 【2】→【3】→【1】 |

問4 以下は「鎖国」体制の下で「四つの窓口」と呼ばれている外交・交易システムについての記述である。□(1)～□(16)にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～ハからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

幕藩体制下で規制内容が数度にわたって徐々に強化された鎖国令を経て□(1)が唯一の幕府直轄貿易港となった。とはいえ，日本は全土を完全に「鎖し」たわけでもなければ，日本に届く情報が唐船風説書や□(2)風説書に限られていたわけでもなかった。17世紀半ばには□(3)民族が建てた明が滅び，□(4)民族による清が成立するが，この地政変化のもとでも日本の交易規模はむしろ大きくなった。徳川□(5)は，織豊期とは異なり，一方ではポルトガルに典型的なキリスト教の布教と一体となった貿易を抑えながらも，他方では海外の諸国との交流の深化を模索したのである。

例えば，清と冊封関係にあった朝鮮とは□(6)約条が結ばれ，また対馬藩の□(7)氏を窓口とする□(8)使の交流や，それを媒介とした清との関係が深化した。同様に，清と冊封関係にあった琉球王国は，

日本史

(9) 年、島津 (10) の軍によって制圧され、薩摩藩の支配下に入った。さらに薩摩藩は検地を実施し、(11) 制を採用することで人びとを支配し、通商交易権をも掌握した。こうして琉球王国は、国王の代替わりにあたっては (12) 使を、また将軍の代替わりにあたっては (13) 使を幕府に派遣して、幕府および清と二重の外交体制を保つことになった。

また蝦夷ヶ島の和人地を支配していた (14) 氏は (15) 氏と改称し、(16) 年に徳川 (5) からアイヌとの独占的交易権を保障され、サハリンを中継地とする山丹交易など、大陸との交易ルートができた。こうして日本は、(2) と清とは通商の国として、朝鮮と琉球とは (8) の国として、交流したのである。

ア 1604	イ 1609	ウ オランダ
エ 癸亥(嘉吉)	オ 謝恩	カ 宗
キ 慶賀	ク 漢	ケ 長崎
コ 家久	サ 満州	シ 通信
ス 松前	セ 家康	ソ 貫高
タ 蠣崎	チ 尚	ツ 吉宗
テ スペイン	ト 石高	ナ 堺
ニ 己酉	ヌ 斉彬	ネ 安藤(安東)
ノ 1611	ハ 追捕	

問5 鎖国政策に関連して、以下のア～カの文章で正しいものを二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 蝦夷地開発とロシアとの交易の必要性を説いた土佐藩の藩医工藤平助の著書『赤蝦夷風説考』は田沼意次に献上された。

イ 高野長英は『戊戌夢物語』を、渡辺崋山は『慎機論』を著して、ゴローウニ号事件を批判し、厳しく処罰された。

ウ 佐藤信淵は『経済要録』や『稽古談』を著して、産業の国家統制と貿易振興による国家権力の強化を論じた。

エ 『経世秘策』を著した本多利明は、西洋諸国との交易や蝦夷地開発による富国策を説いた。

オ 林子平は『三国通覧図説』や『海国兵談』を著して、対外的な危機が迫っていることを説き、幕府によって弾圧された。

カ 海保青陵は『新論』を著して、商品経済に依拠した殖産興業を主張した。

日本史

[C]

【1】 第一条 日本国政府ハ、在東京外務省ニ依リ今後韓国ノ外国ニ対スル關係及事務ヲ監理指揮スヘク、日本国ノ外交代表者及領事ハ外国ニ於ケル韓国ノ臣民及利益ヲ保護スヘシ

……

第三条 日本国政府ハ、其代表者トシテ韓国皇帝陛下ノ閣下ニ一名ノ統監^(b)(レヂデントゼネラル)ヲ置ク……

【2】 第一条 韓国皇帝陛下ハ韓国全部ニ関スル一切ノ統治権ヲ完全且永久ニ日本国皇帝陛下ニ譲与ス

【3】 一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ財務顧問トシテ韓国政府ニ傭聘シ、財務ニ関スル事項ハ総テ其意見ヲ詢ヒ遂行スヘシ

一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル外国人一名ヲ外交顧問トシテ外部ニ傭聘シ、外交ニ関スル要務ハ総テ其意見ヲ詢ヒ遂行スヘシ

【4】 第一条 韓国政府ハ施政改善ニ関シ統監ノ指導ヲ受クルコト

第二条 韓国政府ノ法令ノ制定及重要ナル行政上ノ処分ハ予メ統監ノ承認ヲ経ルコト

【5】 第二条 1910年8月22日以前に大日本帝国と大韓帝国との間で締結された^(c)すべての条約及び協定は、もはや無効であることが確認される。

問6 【1】～【5】を年代順に並べたものを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 【1】→【3】→【2】→【4】→【5】 イ 【2】→【1】→【3】→【4】→【5】

ウ 【3】→【1】→【4】→【2】→【5】 エ 【2】→【4】→【3】→【1】→【5】

オ 【4】→【2】→【3】→【1】→【5】

問7 下線部(b)に関連し、初代「統監」を以下のア～エから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 寺内正毅 イ 大山巖 ウ 山県有朋 エ 伊藤博文

問8 下線部(c)にある「1910年」は【1】～【4】のどれが調印された年か、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 【1】 イ 【2】 ウ 【3】 エ 【4】

問9 【5】の調印時における日本の内閣総理大臣と大韓民国(韓国)の大統領を以下のア～オからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

日本	ア 池田勇人	イ 岸 信介	ウ 田中角栄
	エ 三木武夫	オ 佐藤栄作	
大韓民国	ア 李 承晩	イ 朴 正熙	ウ 盧 泰愚
	エ 金 大中	オ 全 斗煥	